

船橋市リハビリセンター 令和元年度中期目標達成状況評価（案）

1. 採点基準及び評価について

第2次中期目標達成状況評価（案）の作成にあたっては、事務局において各目標の仮評価を行うものとし、それぞれに4段階の採点を行った。採点の基準及び評価は以下の通りである。

【評価】

- S・・・目標が高いレベルで達成されている
- A・・・目標が達成されている
- B・・・目標が概ね達成されている
- C・・・目標が達成されていない

【各目標の評価基準】

I 外来患者について

目標1 利用者アンケートによる患者満足度

＜リハビリセンターの利用に関する項目＞

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

＜リハビリの効果に対する期待度の項目＞

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

II 通所リハビリ利用者について

目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合100分の50以上

目標4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

各年度の目標値から算出した達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標5 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

Ⅲ 訪問リハビリ利用者について

目標6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

各年度の目標値から算出した達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標8 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

Ⅳ 訪問看護利用者について

目標9 利用者アンケートによる患者満足度

V リハビリ事業利用者について

目標10 利用者アンケートによる満足度

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標 1 1 診療所部門 経常収支比率

目標 1 2 訪問看護部門 経常収支比率

各年度の目標値から算出した執行率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標 1 3 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行なう

- S … 各年度の行動計画以上の事業を実施した。
- A … 各年度の行動計画どおりの事業を実施した。
- B … 各年度の行動計画にある事業は実施したが回数が少なかった。
- C … 各年度の行動計画にある事業が実施できなかった。

2. 令和元年度目標・実績・評価について

1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

I 外来患者について

目標1 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

外来患者の満足度調査においては、調査項目全てが目標値を超える結果となり、高いレベルで目標が達成されていた。

今後も患者の高い満足度が維持できるように、引き続き取り組んでいきたい。

II 通所リハビリ利用者について

目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

評価： S

通所リハビリを終了した55名のうち、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者は10名、目標達成率は18.1%と、目標値（5%以上）を大きく上回る結果となった。

今後も、利用者にとって質の高い通所リハビリテーションの提供を行っていただきたい。

目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士が占める割合100分の50以上

評価： S

全体の介護職員3人のうち介護福祉士は3人であり、介護福祉士の占める割合は、100%となった。

引き続き、中重度の要介護者や認知症高齢者に対応できるケア体制を維持していただきたい。

目標4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

評価： S

勤続年数3年以上の者は、全体の職員数22人のうち22人で、100%となり、目標値の30%を大きく上回る結果となった。

質の高いリハビリを実施するため、引き続き経験のある職員の確保に努めていただきたい。

目標5 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

通所リハビリのスケジュールについて、「満足」の割合が57.4%と目標を下回ってしまったが、それ以外の項目については、目標値を高く上回る結果となった。

今後も患者の高い満足度が維持できるように、引き続き同様の取り組みを実施していただきたい。

Ⅲ訪問リハビリ利用者について

目標6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

評価： S

訪問リハビリを終了した102名のうち、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者は22名、目標達成率は21.5%と目標値（5%以上）を大きく上回る結果となった。

引き続き利用者の目標を達成できるよう質の高い訪問リハビリテーションの提供を行っていただきたい。

目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

評価： S

利用者に直接提供する各職種のうち、勤続年数3年以上の者の割合は計19人のうち19人、100%となり、目標値の30%を大きく上回る結果となった。

引き続き同様の取り組みを継続していただきたい。

目標 8 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

訪問リハビリの利用者満足度については、全ての項目において目標値を上回る結果となった。

今後も患者の高い満足度が維持できるように、引き続き同様の取り組みを実施していただきたい。

IV訪問看護利用者について

目標 9 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

全ての項目において、目標値を大きく上回っていた。

特に、訪問看護のスケジュールについて「満足」と「やや満足」を足した割合が100%と高い満足度を得ており、取り組みの成果が出ていた。

引き続き、同様の取り組みを続けていただきたい。

Vリハビリ事業利用者について

目標 10 利用者アンケートによる満足度

評価： S

リハビリ事業利用者への満足度について、「パワーリハビリについて」の「満足」のみの割合の項目を除き、目標値を上回る結果となった。

引き続き、利用者の声を傾聴し、さらなる満足度向上に取り組んでいただきたい。

2. 財務内容の改善に関する事項

目標 1 1 診療所部門 経常収支比率

評価： B

令和元年度においては、91.4%と目標値（100%以上）を下回った。

新型コロナウイルス感染症の影響があったと考えられるが、昨年度に近い診療実績を収めており、目標達成に向け努力されていた。

令和2年度は、目標達成に向け、引き続き努めていただきたい。

目標 1 2 訪問看護部門 経常収支比率

評価： A

令和元年度においては104.2%と、昨年度の85.2%から19ポイント増加し、目標値（100%以上）を達成することができた。

令和2年度も、目標達成に向けて安定的な経営に努めていただきたい。

3. その他管理に関する重要事項

目標 1 3 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行う

評価： —

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「リハビリ関係者向け研修会」が2回、「リハビリ関係者向け講演会」が1回中止となり、計画に掲げる事業を全て行うことができなかった。

しかし、「リハビリ関係者向け研修会」については、年3回の計画のところ、実績では年13回開催していた。また、研修会参加者のアンケート結果では研修内容について「とても良い」「良い」と回答した方が95%おり、非常に好評を得ていることが伺える。

今後は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底しながら、地域リハビリテーションの推進に努めていただきたい。

(事務局注)

令和元年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、「リハビリ関係者向け講演会」は計画の回数を満たさなかったが、「リハビリ関係者向け研修会」は計画以上の回数を行っておりました。

事務局の評価基準に合わせると評価はBとなりますが、想定されなかった事態によるものであったため、事務局では評価を保留とさせていただきました。目標13の評価につきましては、委員会において審議の後評価をお願いいたします。

